

交換レンズ
Interchangeable Lens
Objectif interchangeable

取扱説明書
Operating Instructions
Mode d'emploi

MASTER

FE 600mm
F4 GM OSS



E-mount

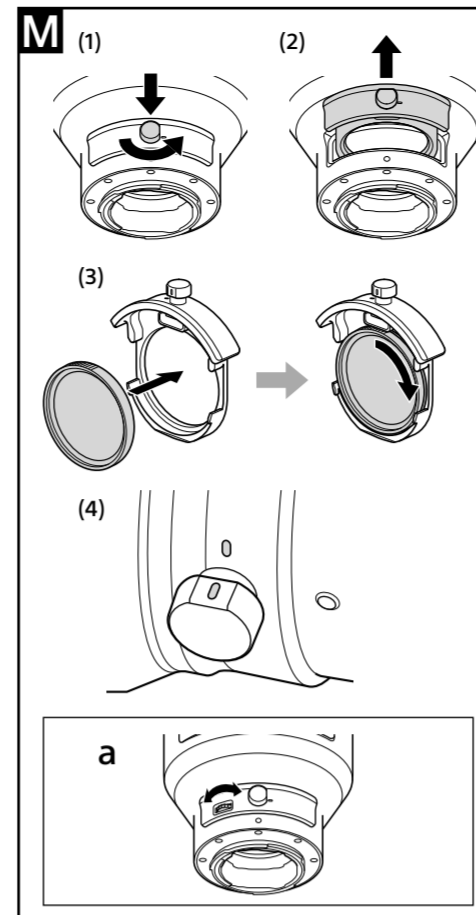
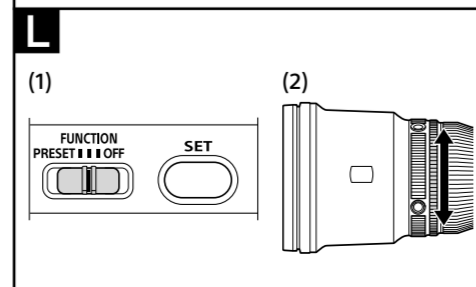
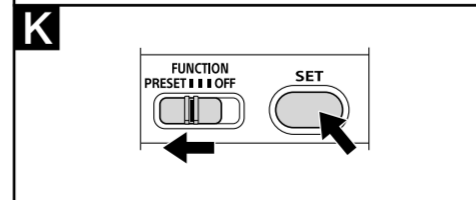
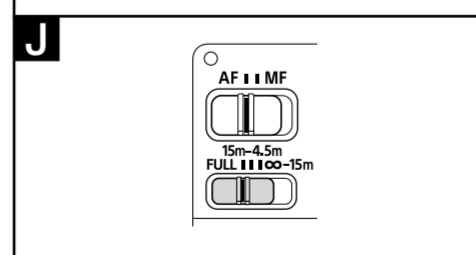
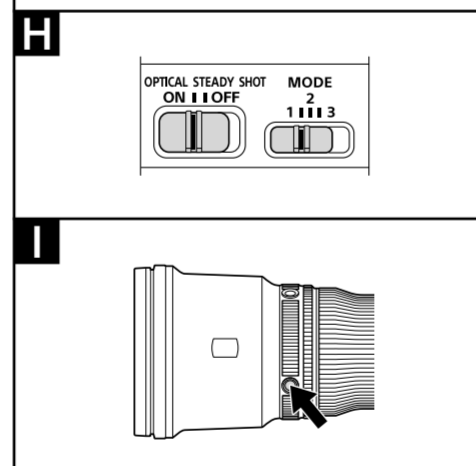
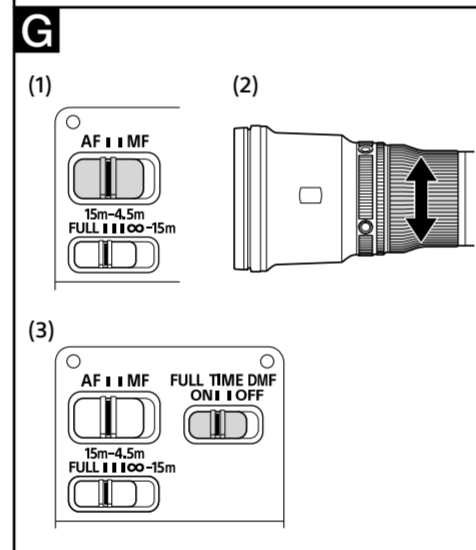
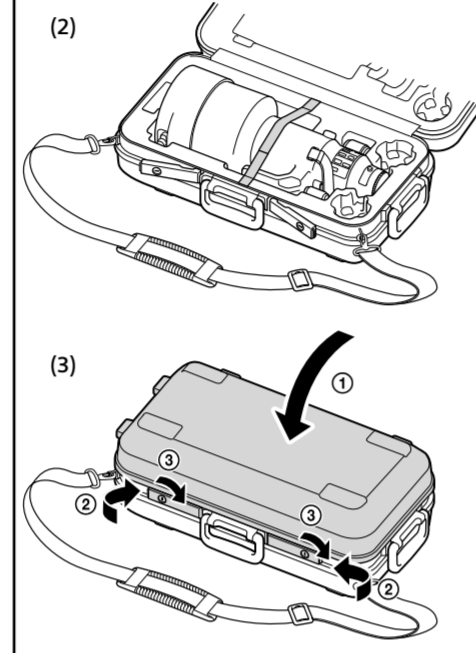
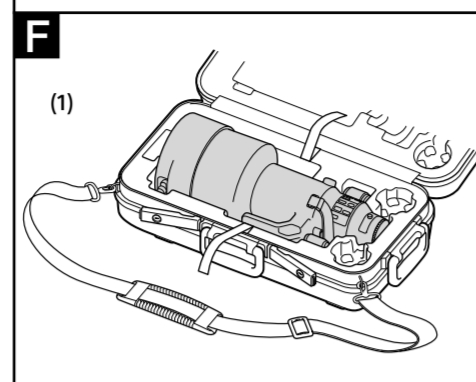
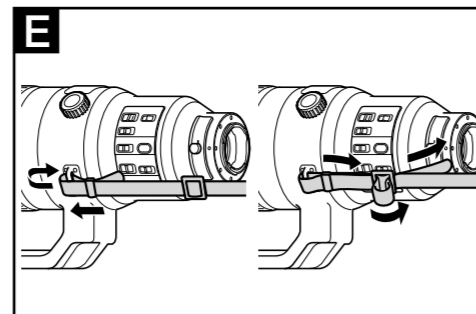
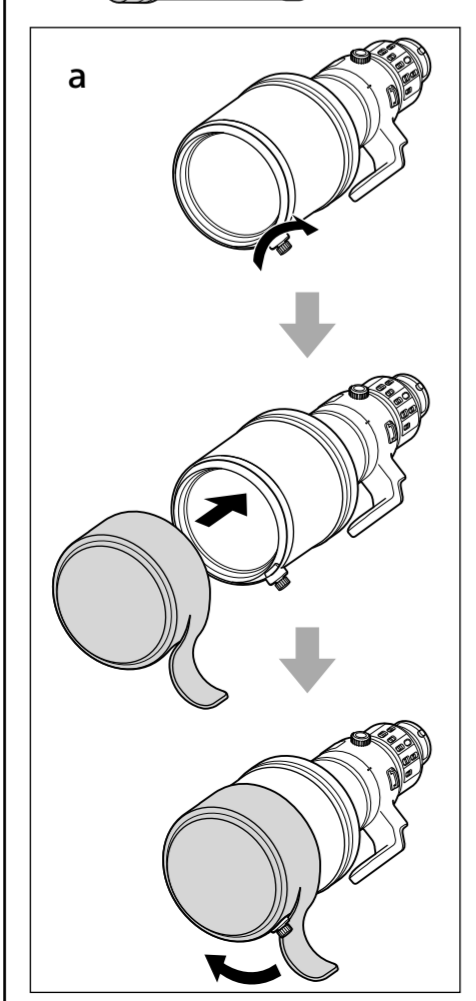
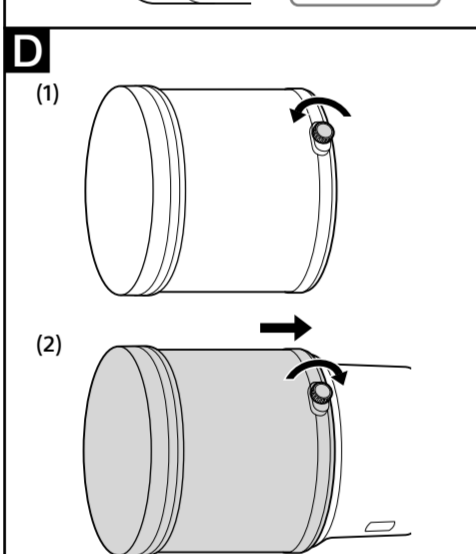
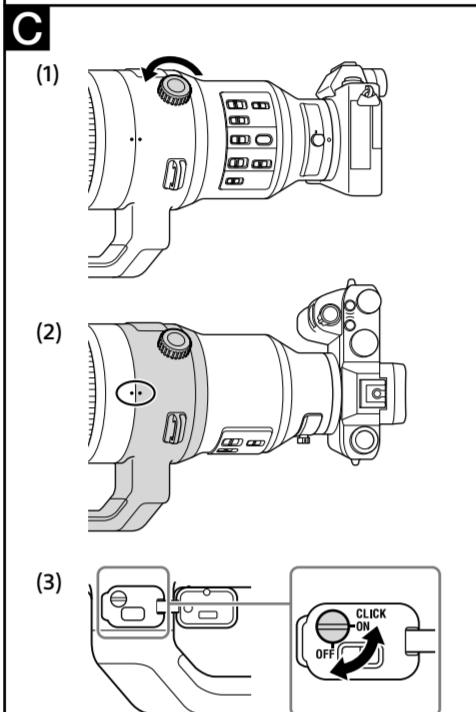
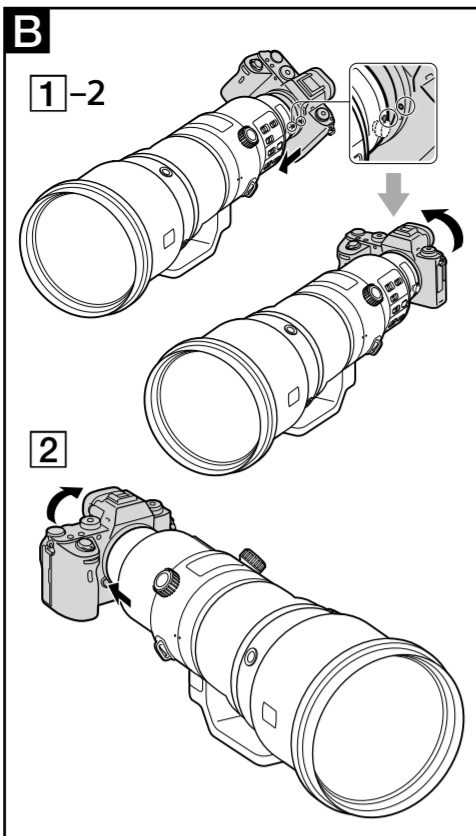
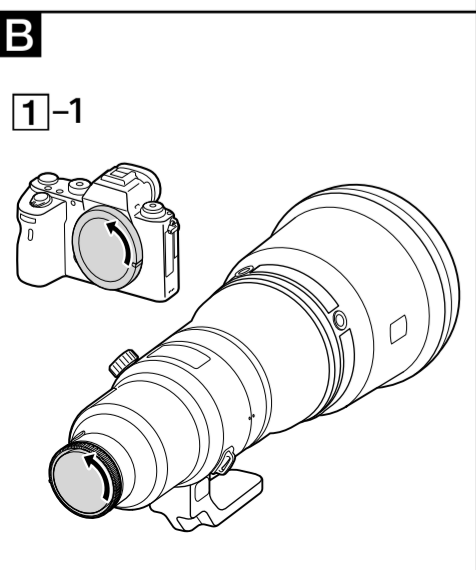
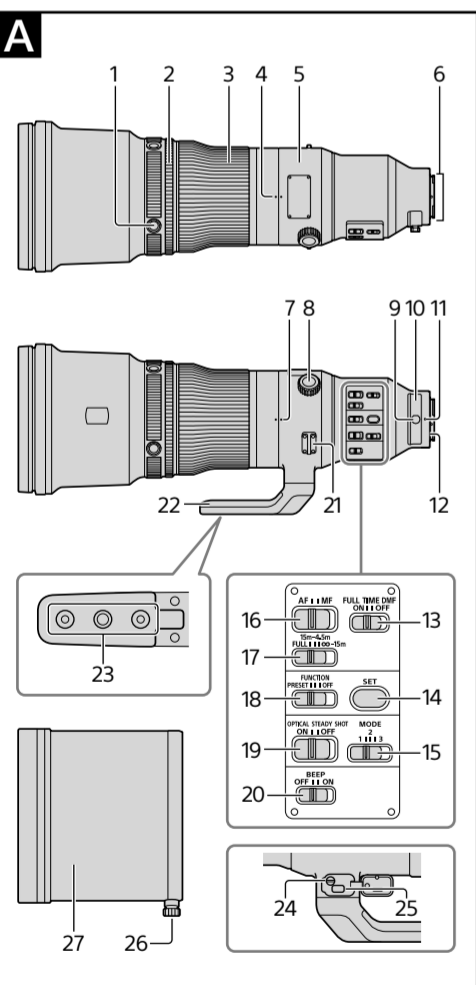
SEL600F40GM



4742281010

https://www.sony.net/

©2019 Sony Corporation
Printed in Japan



日本語

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、人身への危害や火災などの財産への損害を与えることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

この「取扱説明書」ではレンズの使いかたを説明しています。使用上のご注意など、レンズに共通したご注意や説明については別冊の「使用前のご注意」をご覧ください。

本機はソニー製αカメラシステムEマウントカメラ専用のレンズです。Aマウントカメラにはお使いになれません。

本機は35mm判相当の撮像素子範囲に対応しています。35mm判相当の撮像素子搭載機種ではカメラ設定によってAPS-Cサイズで撮影が可能です。カメラの設定方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

https://www.sony.jp/support/ichigan/

使用上のご注意

- レンズを絶対に太陽や強い光源に向けたままにしないでください。レンズの集光作用により、発煙や火災、ボディ・レンズ内部の故障の原因になります。やむを得ず太陽光下等におく場合は、前後レンズキャップを取り付けてください。
- 逆光撮影時は、太陽を画面から充分にずらしてください。太陽光がカメラ内部で焦点を結び、発煙や火災の原因となります。また、太陽を画面からわずかに外しても発煙や火災の原因となることがあります。
- レンズを取り付けてカメラを持ち運ぶときは、三脚台座などレンズ側をしっかりと持ってください。
- 本機は防じん、防滴性に配慮して設計されていますが、防水性能は備えていません。雨中使用時などは、水滴がからないようにしてください。
- 本機の保管時や移動時には、落下させないようにしてください。また、撮影時にはしっかりとした三脚をご使用ください。

フラッシュ使用時のご注意

- カメラ内蔵フラッシュはお使いになれません。

周辺光量について

- レンズは原理的に画面周辺部の光量が中心部に比べ低下します。周辺光量の低下が気になる場合は、開放絞りから1〜2段絞り込んでご使用ください。

A 各部のなまえ

- フォーカスホールドボタン
- 2 ファンクションリング
- 3 フォーカスリング
- 4 三脚座リング指標
- 5 三脚座リング
- 6 レンズ信号接点^{*1}
- 7 三脚座リング指標
- 8 三脚座リングクランプノブ
- 9 差し込みフィルターノブ
- 10 差し込みフィルター枠
- 11 マウント標点
- 12 レンズマウントゴムリング
- 13 フルタイムダイレクトマニュアルフォーカススイッチ
- 14 SETボタン
- 15 手ブレ補正モードスイッチ
- 16 フォーカスモードスイッチ
- 17 フォーカスレンジ切り替えスイッチ
- 18 ファンクションリング切り替えスイッチ
- 19 手ブレ補正スイッチ
- 20 BEEPスイッチ
- 21 ストラップ取り付け部
- 22 三脚台座
- 23 三脚用ネジ穴(1/4インチ・2箇所、3/8インチ:1箇所)^{*2}
- 24 三脚座リングクリック切り替えスイッチ
- 25 セキュリティースロット^{*3}
- 26 フード着脱ノブ
- 27 レンズフード

^{*1} 直接手で触れないでください。
^{*2} 1/4-20UNCネジ・3/8-16UNCネジに対応した三脚(別売、ネジの長さ5.5 mm以下)を取り付けることができます。
^{*3} 盗難防止のため、市販のセキュリティーワイヤーを取り付けることができます。

B レンズの取り付けかた/取りはずしかた

取り付けかた(イラストB-1参照)

- 1 レンズの前後レンズキャップとカメラのボディキャップをはずす。
- 2 レンズとカメラの白の点(マウント標点)を合わせてはめ込み、カメラを軽くレンズに押し当てながら、矢印の方向に「カチッ」とロックがかかるまでゆっくり回す。
 - レンズを取り付けるときは、カメラのレンズ取りはずしボタンを押さないでください。
 - レンズを斜めに差し込まないでください。

取りはずしかた(イラストB-2参照)

カメラのレンズ取りはずしボタンを押したまま、カメラを矢印の方向に回してはずす。

C 三脚を使う

三脚をお使いの場合、カメラの三脚座ネジ穴ではなく、レンズの三脚台座に取り付けます。

縦位置・横位置の変更

三脚座リングクランプノブをゆるめると(1)、カメラごと任意に回転させることができます。三脚使用時に、安定感を損なわずに縦位置/横位置の変更をすばやくできます。

- 三脚座リングには、90°ごとにグレーの点(三脚座リング標点)があります。レンズ側のグレーの点(三脚座リング指標)と合わせると、カメラの正確な位置決めができます(2)。
- 使用状況やお好みに合わせて、三脚座リングを90°ごとに回転させたときの位置決めクリックの有無を選択することもできます。三脚台座上側のカバーを取りはずし、マイナスドライバーなどで三脚座リングクリック切り替えスイッチを回してください(3)。「CLICK ON」の方向に回すとクリックあり、「OFF」の方向に回すとクリックなしに設定できます。
- 位置を決めた後は、三脚座リングクランプノブをしっかりと締めてください。
- 三脚座リングを回転する一部のカメラ本体、およびアクセサリと干渉します。カメラ本体、およびアクセサリとの互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

D レンズフードを取り付ける

画面外にある光が描写に影響するのを防ぐために、レンズフードの使用をおすすめします。

レンズフードの側面にあるフード着脱ノブをゆるめ(1)、レンズフードをまっすぐ静かにレンズ先端に取り付け(2)、レンズフードが斜めになっていないかを確認し、フード着脱ノブをしっかりと締める。

撮影後は、以下の手順でレンズフロントキャップをレンズフードに取り付けます。

- 1 レンズフードを逆向きにレンズに取り付けたいあと、フード着脱ノブをしっかりと締めて、レンズとレンズフードを固定する。
- 2 レンズフロントキャップの穴と、レンズフード側面のフード着脱ノブの位置を合わせて奥までしっかりとはめ込み、面ファスナーを止めて固定する。

撮影後は、以下の手順でレンズフロントキャップをレンズフードに取り付けます。

- 1 レンズフードを逆向きにレンズに取り付けたいあと、フード着脱ノブをしっかりと締めて、レンズとレンズフードを固定する。
- 2 レンズフロントキャップの穴と、レンズフード側面のフード着脱ノブの位置を合わせて奥までしっかりと

E レンズストラップを取り付ける

レンズを持ち運ぶときは、レンズストラップを取り付けてください。

- 誤った取り付けかたをすると、レンズからレンズストラップがはずれて、レンズが落下する恐れがありますのでご注意ください。
- レンズをカメラに取り付けた状態で持ち運ぶときは、レンズストラップを使用してください。カメラのストラップは使用しないでください。

F レンズをケースに収納する

- 1 レンズフードとレンズキャップを取り付けた状態で、三脚座を手前にしてケースに入れる(1)。
 - レンズフードのフード着脱ノブの位置は、ケース手前の凹部に合わせます。
 - レンズストラップは、ただでレンズの下のスペースに収納します。
- 2 ベルトでレンズをしっかりと固定する(2)。
- 3 レンズケースのふたを閉め、レバーを押して鍵をかける(3)。

G ピントを合わせる

• 本機のフォーカスモードスイッチは、一部のカメラ本体においてお使いになれません。カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

AF (オートフォーカス) / MF (マニュアルフォーカス)の切り替え

AF (オートフォーカス・自動ピント合わせ) / MF (マニュアルフォーカス・手動によるピント合わせ)の設定を、レンズ側で切り替えることができます。AFで撮影する場合は、カメラ側とレンズ側両方の設定をAFにします。カメラ側あるいはレンズ側のいずれか一方、または両方の設定がMFの場合、MFになります。

レンズ側の設定

フォーカスモードスイッチを、AFまたはMFのいずれかに設定したいほうに合わせる(1)。

- カメラのフォーカスモードの設定方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。
- MFではファインダー等を見ながらフォーカスリングを回して、ピントを合わせます(2)。
- フルタイムダイレクトマニュアルフォーカススイッチをONに設定すると、AFのモード設定やピントの状態にかかわらず、フォーカスリングを回すことで自動的にMFに切り替わります(3)。

AF/MFコントロールボタンを装備したカメラをお使いの場合

- AF動作時にAF/MFコントロールボタンを押すと、一時的にMFへ切り替えることができます。
- MF動作時にAF/MFコントロールボタンで一時的にAFへ切り替えができるのは、レンズの設定がAF、カメラの設定がMFの場合となります。

H 手ブレ補正を使用する

手ブレ補正モードスイッチ

- ON: 手ブレを補正します。
- OFF: 手ブレを補正しません。三脚をお使いになる場合は、手ブレ補正をOFFにすることをおすすめします。

手ブレ補正モードスイッチ

- MODE1: 主に、通常の手ブレを補正します。(ノーマル)を補正します。
- MODE2: 移動する被写体を流し撮りする場合、手ブレを補正します。
- MODE3: フレーミングを重視した手ブレ補正を行います。スポーツなど不規則に素早く動く被写体を追いかけやすくなります。

I フォーカスホールドボタンを使用する

• 本機のフォーカスホールドボタンは、一部のカメラ本体においてお使いになれません。カメラ本体との互換情報については専用サポートサイトでご確認ください。

フォーカスホールドボタンが4箇所配置されています。AF中にフォーカスホールドボタンを押すと、AFの駆動を止めることができます。ピントが固定され、そのままでのピントでシャッターを切れます。シャッターボタンを半押しした状態で、フォーカスホールドボタンを離すと、AFが再開します。

J フォーカスレンジ(AF駆動範囲)を切り替える

AFの駆動範囲を切り替えて、ピント合わせの時間を短縮できます。撮影距離が一定の範囲内に限られている場合に便利です。

- FULL: 距離制限はありません。全域でピント合わせが可能です。
- 15m-4.5m: 15mから4.5mの範囲でピント合わせが可能です。
- ∞-15m: 無限遠から15mの範囲でピント合わせが可能です。

K プリセットフォーカスを使用する

任意の撮影距離をレンズに記憶させておき、必要なときに瞬時に呼び出すことができます。スポーツの試合など、動きの速い被写体をあらかじめ決めておいた撮影距離で撮影する場合などに便利です。

記憶させるには

- 1 ファンクションリング切り替えスイッチをPRESETに合わせる。
- 2 記憶させたい撮影距離にピントを合わせる。
 - ピント合わせの方法は、AF、MF、DMFのいずれでも使用することができます。
- 3 SETボタンを長押しし、撮影距離を記憶させる。
 - 記憶された撮影距離は、新たな撮影距離が記憶されるまで有効です。
 - BEEPスイッチをONに設定している場合、撮影距離が記憶されたときに音が鳴ります。
 - 差し込み式フィルターを交換するときは、フィルターを装着したあと、再度撮影距離を記憶させてください。

記憶を呼び出すには

- 1 ファンクションリング切り替えスイッチをPRESETに合わせる。
- 2 ファンクションリングを左右いずれかに回転させる。
 - 記憶させた撮影距離にピント位置が移動します。
 - BEEPスイッチをONに設定している場合、撮影距離が呼び出されたときに音が鳴ります。

L パワーフォーカスを使用する

ファンクションリングを回転させて、一定速度でピント送りを行うことができます。動画撮影時などに、スムーズにピント送りを行うことができます。

- 1 ファンクションリング切り替えスイッチをFUNCTIONに合わせる(1)。
- 2 ファンクションリングを回転させる(2)。
 - フォーカスリングの回転方向と同じ方向に、一定速度でピント送りを行うことができます。
 - ファンクションリングを回転させる角度に応じて、ピント送り速度を切り替えることができます。
 - ピント合わせの方法は、AF、MF、DMFのいずれでも使用することができます。

M 差し込み式フィルターを交換する

お買い上げ時は、あらかじめノーマルフィルターが標準装備されています。フィルターはレンズ光学系の構成要素の一部ですので、撮影時にはノーマルフィルターまたは円偏光フィルターのいずれか1枚を必ず取り付けてください。

差し込み式フィルターの交換方法

- 1 差し込みフィルターノブを押ししながら、レンズ先端に向かって反時計回りに90°回転させる(1)。
 - 90°回転させると、差し込みフィルターノブの平らな面がレンズ先端を向きます。
- 2 フィルター枠をまっすぐ上に引き出す(2)。
- 3 フィルターを交換する(3)。
- 4 差し込みフィルターノブの平らな面をレンズ先端に向けて、差し込みフィルター枠をレンズに差し込む。
- 5 差し込みフィルターノブを押しながら、時計回りに90°回転させてロックする。
 - ロックすると、差し込みフィルターノブの標線と差し込みフィルター枠の指標の位置が合います(4)。フィルター交換後は、差し込みフィルターノブが正しくロックされていることを確認してください。

別売の円偏光フィルター VF-DCPL1の使いかた(イラストM-a参照)

- 1 ファインダーなどを見ながら正確にピントを合わせる。
- 2 ファインダーなどを見ながら、差し込みフィルター枠上の調節リングを回して偏光度合いを調節し、撮影する。

- 水面、ガラスの反射、窓や光沢のあるプラスチック、陶器、紙など、非金属面から余分な反射光(偏光)を取り除くことができます。また、青空のコントラストを高めることもできます。
- 通常は反射光の消滅した状態で撮影しますが、青空などの状態を見ながら撮影者の意図に合わせて撮影することもできます。
- 撮像素子に到達する光量が減少するので、市販の露出計を使ってマニュアルモードで撮影する場合は、一部のフラッシュに搭載されているマニュアルフラッシュ撮影機能を使う場合は、側面1〜2段階程度露出補正を行ってください。

Precautions on using a flash

• You cannot use a built-in camera flash with this lens.

Vignetting

- When using the lens, the corners of the screen become darker than the center. To reduce this phenomena (called vignetting), close the aperture by 1 to 2 stops.

A Identifying the Parts

1 Focus-hold button	2 Function ring
3 Focusing ring	4 Tripod collar ring index
5 Tripod collar ring	6 Lens contacts ^{*1}
7 Tripod collar ring index	8 Tripod collar-locking knob
9 Filter-holder knob	11 Lens mounting index
12 Lens mount rubber ring	13 Full-time direct manual focus switch
14 SET button	15 SteadyShot mode switch
16 Focus-mode switch	17 Focus-range limiter
18 Function ring select switch	19 SteadyShot switch
20 BEEP switch	21 Strap hole
22 Tripod collar	23 Screw holes for tripod attachment (two 1/4-inch holes, one 3/8-inch hole) ^{*2}
24 Tripod collar ring-clicking select switch	25 Security slot ^{*3}
26 Hood-locking knob	27 Lens hood

^{*1} Do not touch the lens contacts.
^{*2} You can attach the tripod (not supplied, screw length of up to 5.5 mm) that requires the 1/4-20UNC screw or the 3/8-16UNC screw for attachment.

^{*3} Attach a commercially available security wire to protect against theft.

B Attaching/Detaching the Lens

To attach the lens (See illustration B-1)

- 1 Remove the rear and front lens caps and the camera body cap.
- 2 Align the white dot on the lens barrel with the white dot on the camera (mounting index), press and hold the camera gently against the lens, and then slowly rotate the camera in the direction of the arrow until it clicks to lock.
 - Do not press the lens release button on the camera when mounting the lens.
 - Do not mount the lens at an angle.

To remove the lens (See illustration B-2)

While holding down the lens release button on the camera, rotate the camera in the direction of the arrow until it stops, then detach the lens.

α および G はソニー株式会社の商標です。

English (Continued from the front side)

C Using the Tripod

When using a tripod, attach it to the tripod collar of the lens, not to the tripod receptacle of the camera.

To change vertical/horizontal position

Loosen the tripod collar ring-locking knob on the tripod collar (1) and rotate the camera either direction. The camera can be quickly switched between vertical and horizontal positions while maintaining stability when using a tripod.

- Gray dots (tripod collar ring indexes) are located at 90° intervals on the collar ring. Align a gray dot on the tripod collar ring with the gray dot (tripod collar ring index) on the lens to adjust the camera position precisely (2).
- To suit your usage or preferences, you can turn on or off the clicking sound that indicates positioning when the tripod collar ring is rotated by 90°. Open the lid on the tripod collar and turn the tripod collar ring-clicking select switch with a tool, such as a flat-blade screwdriver (3). Turn the switch to CLICK ON to turn on the clicking sound. To turn off the clicking sound, turn it to OFF.

- Tighten the tripod collar-locking knob firmly after the camera position is set.
- The tripod collar ring may hit the camera body or accessory when rotated, depending on the camera or accessory model. For more information on compatibility with cameras and accessories, visit the web site of Sony for your area.

D Attaching the Lens Hood

It is recommended that you use a lens hood to reduce flare and ensure maximum image quality.

Loosen the hood-locking knob on the lens hood (1), and then gently slip the lens hood over the front of the lens (2). Make sure that the lens hood is properly attached, and then tighten the hood-locking knob.

Attaching the front lens cap (See illustration D-a)

When you finished with photographing, follow these steps to attach the front lens cap to the lens hood.

- Turn the lens hood the other way around and slip it over the lens, and then tighten the hood-locking knob to secure the lens hood to the lens.

- Align the hood-locking knob on the lens hood with the slit of the front lens cap, slide the lens hood all the way into the front lens cap, and then fasten the flap fastener.

E Attaching the lens strap

Before carrying around the lens, attach the lens strap to the lens.

- To prevent the lens from dropping, be sure to attach the lens strap properly so that the lens strap will not come loose from the lens.
- When carrying around the camera with the lens attached, be sure to grasp the lens strap on the lens, not the one on the camera.

F Storing the lens in the case

- Keep the lens hood and the front lens cap attached to the lens and place the lens in the case while fitting the tripod collar into the designated cavity near the handle on the side of the case (1).
 - Fit the hood-locking knob into the designated cavity near the left latch on the case.
 - When storing the lens strap, fold the lens strap and then store it in the space underneath the lens.
- Secure the lens with the belt (2).
- Close the case lid, push down the latches on the case, and then lock the latches (3).

G Focusing

- The focus-mode switch of this lens does not function with some camera models. For further information on compatibility, visit the web site of Sony in your area, or consult your dealer of Sony or local authorized service facility of Sony.

To switch AF (auto focus)/MF (manual focus)

The focus mode can be switched between AF and MF on the lens.

For AF photography, both the camera and lens should be set to AF. For MF photography, either or both the camera or lens should be set to MF.

To set the focus mode on the lens
Slide the focus-mode switch to the appropriate mode, AF or MF (1).

- Refer to the camera manuals to set the focus mode of the camera.
- In MF, turn the focusing ring to adjust the focus (2) while looking through the viewfinder, etc.
- With the full-time direct manual focus switch slid to ON, the focus mode automatically switches to MF when the focusing ring is rotated, regardless of the AF mode setting and the focus adjustment (3).

To use a camera equipped with an AF/MF control button

- By pressing the AF/MF control button during AF operation, you can temporarily switch to MF.
- Pressing the AF/MF control button during MF operation lets you temporarily switch to AF if the lens is set to AF and the camera to MF.

H Using SteadyShot

SteadyShot switch

- ON: Compensate for camera shake.
- OFF: Does not compensate for camera shake. We recommend setting the SteadyShot switch to OFF when shooting with a tripod.

SteadyShot mode switch

Set the SteadyShot switch to ON, and set the SteadyShot mode switch.

- MODE1: Compensate for normal camera shake.
- MODE2: Compensate for camera shake when panning moving subjects.
- MODE3: Compensate for camera shake to minimize framing disturbances. This helps you to keep up with fast and irregularly moving subjects for photography, for example, in sports games.

I Using focus-hold buttons

- The focus-hold button of this lens does not function with some camera models.

For further information on compatibility, visit the web site of Sony in your area, or consult your dealer of Sony or local authorized service facility of Sony.

This lens has 4 focus-hold buttons. Press the focus-hold button in AF to cancel AF. The focus is fixed and you can release the shutter on the fixed focus. Release the focus-hold button while pressing the shutter button halfway to start AF again.

M Switching Focus Range (AF range)

The focus-range limiter enables you to reduce the AF time. This is useful when the subject distance is definite.

Slide the focus-range limiter to select the focus range.

- FULL: You can adjust the focus from the minimum focusing distance to infinity.
- 15m - 4.5m: You can adjust the focus from 15 m (49.3 feet) to 4.5 m (14.8 feet).
- ∞ -15m: You can adjust the focus from 15 m (49.3 feet) to infinity.

K Preset focusing

A specific subject distance can be stored and recalled at any time. With the distance stored, this focusing helps you to keep up with fast-moving subjects for photography, for example, in sports games.

To store the subject distance

- Slide the function ring select switch to PRESET.

- Focus the lens to the distance to store.
 - The focusing distance can be used in any focus mode: AF, MF, or DMF.

- Press and hold the SET button to store the subject distance.
 - The stored subject distance is effective until a new subject distance is stored.
 - With the BEEP switch slid to ON, a beep sounds every time the subject distance is stored.
 - When you replace the drop-in filter, store the subject distance all over again after the replacement of the filter.

To recall the stored subject distance

- Slide the function ring select switch to PRESET.
- Rotate the function ring either counterclockwise or clockwise.
 - The focus is adjusted to the stored subject distance.
 - With the BEEP switch slid to ON, a beep sounds every time the subject distance is recalled.

L Power focusing

You can rack the focus at a consistent pace by rotating the function ring. This focusing is useful for smooth rack focusing, for example, during video shooting.

- Slide the function ring select switch to FUNCTION (1).
- Rotate the function ring (2).
 - Rack focusing is performed at a consistent pace in the same direction as the focusing ring is rotated.
 - Rack focus speeds can be selected in accordance with rotation angles of the focusing ring.
 - Power focusing is available in any focus mode: AF, MF, or DMF.

M Changing the drop-in filters

The normal filter is attached to the lens at your purchase.

The filter is a component of the optical lens system. Be sure to attach either one of the filters before photographing: the normal filter or the circular polarizing filter.

To replace the drop-in filter

- Push down and turn the filter-holder knob counterclockwise by 90° toward the lens front (1).
- When the filter-holder knob is turned by 90°, the flat cut-off surface of the knob faces toward the lens front.
- Lift the filter-holder straight up (2).
- Replace the filter (3).
- Insert the filter-holder into the lens barrel with the flat cut-off surface of the filter-holder knob facing toward the lens front.

- Push down and turn the filter-holder knob clockwise by 90° to lock the filter-holder.

- When the filter-holder knob is locked, the index bar on the flat cut-off surface of the filter-holder knob is aligned with the index bar on the filter-holder (4).
- After replacement of the drop-in filter, make sure that the filter-holder knob is properly locked.

To use the VF-DCPL1 (Drop-in Circular Polarizing Filter (not supplied) (See illustration M-a)

- Adjust the focus precisely while looking through the viewfinder, etc.

- Rotate the adjustment ring on the drop-in circular polarizing filter-holder while looking through the viewfinder, etc., to adjust the polarization degree for photographing.

- The circular polarizing filter can reduce or eliminate unwanted reflections (polarized light) from nonmetallic surfaces of water, glass, windows, shiny plastics, ceramics, paper, etc. It also helps you get good contrast when taking photos of blue sky.
- Generally, reflected light (polarization) should be minimized in photography. However, you can adjust the polarizing degree for the desired effect as well.
- The amount of light reaching the image sensor decreases. If your camera is set to manual exposure mode and you are using a commercially available exposure meter, or if your camera is set to manual exposure mode and you are using the Manual Flash Control function available on some external flash units, adjust the exposure compensation by opening the aperture by 1 to 2 stops to the + side.

Name (Model name)	FE 600mm F4 GM OSS (SEL600F40GM)
Focal length (mm)	600
35mm equivalent focal length*1 (mm)	900
Lens groups-elements	18-24 (including one filter)
Angle of view 1°2	4°10'
Angle of view 2°2	2°40'
Minimum focus*3 (m (feet))	4.5 (14.8)
Maximum magnification (x)	0.14
Minimum aperture	f/22
Filter diameter (mm)	40.5
Dimensions (maximum diameter × height) (approx., mm (in.))	163.6 × 449 (6 1/2×17 3/4)
Mass (approx., g (oz.))	3,040 (107.3)
SteadyShot	Yes

For further information on compatibility with the tele converter (sold separately) and specifications used with the tele converter, visit the web site of Sony in your area, or consult your dealer of Sony or local authorized service facility of Sony.

- ^{*1} This is the equivalent focal length in 35mm format when mounted on an interchangeable Lens Digital Camera equipped with an APS-C sized image sensor.
- ^{*2} Angle of view 1 is the value for 35mm cameras, and angle of view 2 is the value for Interchangeable Lens Digital Cameras equipped with an APS-C sized image sensor.
- ^{*3} Minimum focus is the distance from the image sensor to the subject.

- Depending on the lens mechanism, the focal length may change with any change in shooting distance. The focal lengths given above assume the lens is focused at infinity.

Included items

(The number in parentheses indicates the number of pieces.)

Lens (1), Front lens cap (1), Rear lens cap (1), Lens strap (1), Lens hood (1), Lens case (1), Case strap (1), Case lock keys (2), Set of printed documentation

Designs and specifications are subject to change without notice.

α and **G** are trademarks of Sony Corporation.

Français

<p>Cette notice explique comment se servir des objectifs. Les précautions communes à tous les objectifs, par exemple les remarques sur l'emploi, se trouvent sur la feuille « Précautions avant toute utilisation ». Veuillez lire les deux documents avant d'utiliser votre objectif.</p>
--

Votre objectif est conçu pour les appareils photo à monture E de type Sony α. Il ne peut pas être utilisé pour les appareils photo à monture A.

Le FE 600mm F4 GM OSS est compatible avec la plage d'un capteur d'image de format 35 mm. Un appareil photo équipé d'un capteur d'image de format 35 mm peut être réglé pour la prise de vue en APS-C.

Pour les détails sur la manière de régler l'appareil photo, reportez-vous à son mode d'emploi.

Pour plus d'informations sur la compatibilité, consultez le site de Sony de votre pays, ou adressez-vous à un revendeur Sony ou à un service après-vente agréé Sony.

Remarques sur l'emploi

- Ne laissez pas la lentille orientée vers le soleil ou une source de lumière intense. Cela risque de provoquer un problème de fonctionnement interne du boîtier de l'appareil photo et de l'objectif, de dégager de la fumée, voire de provoquer un incendie. Si toutefois vous ne pouvez pas faire autrement, veillez à fixer les capuchons sur l'objectif.
- Lors d'une prise de vue en direction du soleil, veillez à ce que le soleil ne soit pas dans l'angle de vue. Dans le cas contraire, les rayons solaires peuvent être concentrés vers le point focal dans l'appareil photo, et provoquer un incendie ou dégager de la fumée. Vous pouvez provoquer un incendie ou dégager de la fumée même si le soleil est légèrement en dehors de l'angle de vue.

- Lors du transport d'un appareil photo sur lequel est fixé un objectif, tenez fermement l'objectif par le pied de trépied par exemple.
- Cet objectif n'est pas étanché à l'eau bien qu'il soit conçu pour résister à la poussière et aux éclaboussures. Si vous l'utilisez sous la pluie, etc. veillez à ce que de l'eau ne tombe pas dessus.
- Évitez de faire tomber cet objectif lors de son rangement ou de son transport. Pendant une prise de vue, utilisez ce objectif sur un trépied robuste.

Précautions concernant l'emploi d'un flash

- Vous ne pouvez pas utiliser le flash de votre appareil photo avec cet objectif.

Vignetage

- Lorsque l'objectif est utilisé, les coins de l'écran deviennent plus sombres que le centre. Pour réduire ce phénomène (appelé vignetage), fermez l'ouverture de 1 ou 2 crans.

A Identification des éléments

1 Bouton de maintien de la mise au point
2 Bague de fonction
3 Bague de mise au point
4 Repère de la bague du pied de trépied
5 Bague du pied de trépied
6 Contacts de l'objectif*1
7 Repère de la bague du pied de trépied
8 Molette de blocage du pied de trépied
9 Molette du porte-filtre
10 Porte-filtre
11 Repère de montage de l'objectif
12 Bague en caoutchouc de montage de l'objectif
13 Commutateur du mode total de mise au point manuelle directe
14 Bouton SET
15 Commutateur du mode SteadyShot
16 Commutateur de mode de mise au point
17 Limiteur de la plage de mise au point
18 Commutateur de sélection de la bague de fonction
19 Commutateur SteadyShot
20 Commutateur BEEP
21 Orifice de bandoulière
22 Cadre de trépied
23 Orifices de vis pour la fixation d'un trépied (deux orifices de 1/4 pouce (6,35 mm) un orifice de 3/8 pouce (9,5 mm))*2
24 Commutateur de sélection du cliquetis du pied de trépied
25 Fente de sécurité*3
26 Molette de blocage du pare-soleil
27 Pare-soleil

- ^{*1} Ne touchez pas les contacts d'objectif.
- ^{*2} Vous pouvez fixer le trépied (non fourni, longueur de vis jusqu'à 5,5 mm) qui nécessite une vis 1/4-20UNC ou 3/8-16UNC pour la fixation.
- ^{*3} Fixez un câble de sécurité disponible dans le commerce contre les vols.

B Pose et dépose de l'objectif

Pour poser l'objectif (voir illustration B-1)

- Déposez les capuchons d'objectif arrière et avant et le capuchon de l'appareil photo.
- Alignez le repère blanc du barillet de l'objectif sur le repère blanc de l'appareil photo (repère de montage), puis posez l'objectif sur la monture de l'appareil photo et tournez-le lentement dans le sens de la flèche jusqu'à ce que vous entendiez un dé clic.
 - N'appuyez pas sur le bouton de libération de l'objectif de l'appareil photo lorsque vous posez l'objectif.
 - Ne posez pas l'objectif de biais.

Pour déposer l'objectif (voir illustration B-2)

Tout en appuyant sur le bouton de libération de l'objectif sur l'appareil photo, tournez l'objectif dans le sens de la flèche jusqu'à l'arrêt, puis déposez l'objectif.

C Utilisation d'un trépied

Lors de l'utilisation d'un trépied, fixez-le au pied de l'objectif et non au support de trépied de l'appareil photo.

Pour modifier la position verticale/horizontale

Desserrez la molette de blocage du collier de pied sur le pied (1) puis tournez l'appareil photo dans un des deux sens. L'appareil photo peut rapidement passer d'une position verticale à une position horizontale (ou inversement) tout en préservant sa stabilité lors de l'utilisation d'un trépied.

- Des points gris (repères de collier de pied) se trouvent à des intervalles de 90° sur le collier de pied. Alignez un point gris du collier de pied sur la ligne gris (repère de collier de pied) de l'objectif pour ajuster plus précisément la position de l'appareil photo (2).

- Pour convenir à votre usage ou vos préférences, vous pouvez activer ou désactiver le cliquetis qui indique le positionnement lorsque la bague du pied de trépied est tournée de 90°. Ouvrez la protection du pied de trépied puis tournez le commutateur de sélection du cliquetis du pied de trépied à l'aide d'un outil tel qu'un tournevis plat (3). Faites pivoter le commutateur sur CLICK ON pour activer le cliquetis. Pour désactiver le cliquetis, faites-le pivoter sur OFF.

- Vissez à fond la molette de blocage du collier de pied une fois la position de l'appareil photo établie.

- Le collier de pied peut percuter l'appareil photo ou un accessoire lors de sa rotation, selon le modèle d'appareil photo ou d'accessoire. Pour plus d'informations sur la compatibilité avec des appareils photo et accessoires, consultez le site de Sony de votre pays.

D Fixation du pare-soleil

Il est conseillé d'utiliser un pare-soleil pour réduire la lumière parasite et obtenir la meilleure image possible.

Desserrez la molette de blocage du pare-soleil de l'objectif (1), puis faites passer avec précaution le pare-soleil par-dessus l'avant de l'objectif (2). Assurez-vous que le pare-soleil est fixé correctement, puis serrez la molette de blocage du pare-soleil.

Fixation du capuchon d'objectif avant (voir illustration D-a)

Une fois la prise de vue terminée, suivez les étapes ci-dessous pour poser le capuchon d'objectif avant sur le pare-soleil.

- Tournez le pare-soleil dans l'autre sens et installez-le sur l'objectif, puis serrez la molette de blocage du pare-soleil pour fixer correctement le pare-soleil sur l'objectif.

- Alignez la molette de blocage du pare-soleil sur la fente du capuchon d'objectif avant, glissez le pare-soleil à fond dans le capuchon d'objectif avant, puis serrez l'ailette de fixation.

E Fixation de la dragonne de l'objectif

Avant de transporter l'objectif, attachez la dragonne sur ce dernier.

- Pour éviter de faire tomber l'objectif, assurez-vous de fixer correctement sa dragonne de telle manière qu'elle ne puisse pas se détacher de l'objectif.
- Vous devez transporter l'appareil photo sur lequel est fixé un objectif en le tenant par la dragonne et non pas par l'appareil photo.

F Rangement de l'objectif dans la mallette

- Laissez le pare-soleil et le capuchon d'objectif avant sur l'objectif puis rangez l'objectif dans la mallette en s'assurant que le pied de trépied se loge dans l'emplacement réservé à cet effet près de la poignée latérale de la mallette (1).
 - Rentrez la molette de blocage du pare-soleil dans la cavité réservée à cet effet près du loquet gauche de la mallette.
 - Pour ranger la dragonne de l'objectif, pliez-la puis placez-la dans l'espace réservé sous l'objectif.

- Bloquez l'objectif avec la sangle (2).
- Fermez la partie supérieure de la mallette, rabattez les loquets de la mallette, puis fermez-les à clé (3).

G Mise au point

- Le commutateur de mode de mise au point de cet objectif ne fonctionne pas sur certains modèles d'appareils photo. Pour plus d'informations sur la compatibilité, consultez le site de Sony de votre pays, ou adressez-vous à un revendeur Sony ou à un service après-vente agréé Sony.

Pour commuter entre AF (mise au point automatique) et MF (mise au point manuelle)

Il est possible de régler le mode de mise au point sur AF ou MF sur l'objectif.

Pour la photographie en mode AF, l'appareil photo et l'objectif doivent être tous les deux réglés sur AF. Pour la photographie en mode MF, l'appareil photo ou l'objectif, ou bien les deux, doivent être réglés sur MF.

Pour régler le mode de mise au point sur l'objectif

Réglez le commutateur de mode de mise au point sur le mode adapté, AF ou MF (1).

- Reportez-vous aux manuels de l'appareil photo pour régler le mode de mise au point sur l'appareil photo.
- En mode MF, tournez la bague de mise au point pour faire la mise au point (2) tout en regardant dans le viseur, etc.
- Lorsque le commutateur du mode total de mise au point manuelle directe est placé sur ON, le mode de mise au point passe automatiquement sur MF lorsque vous tournez la bague de mise au point, quels que soient les réglages de mode AF et de mise au point choisis (3).

Pour utiliser un appareil photo pourvu d'une touche de commande AF/MF

- En appuyant sur la touche de commande AF/MF en mode AF, vous pouvez provisoirement passer en mode MF.
- En appuyant sur la touche de commande AF/MF en mode MF, vous pouvez provisoirement passer en mode AF si l'appareil photo est réglé sur MF et l'objectif sur AF.

H Utilisation de SteadyShot

Commutateur SteadyShot

- ON : compense les tremblements de l'appareil photo.
- OFF : ne compense pas les tremblements de l'appareil photo. Nous conseillons de régler le commutateur SteadyShot sur OFF lors de la prise de vue sur un trépied.

Commutateur du mode SteadyShot

Réglez le commutateur SteadyShot sur ON, puis réglez le commutateur du mode SteadyShot.

- MODE1 : compense les tremblements normaux de l'appareil photo.
- MODE2 : compense les tremblements de l'appareil photo lors d'un panoramique de sujets en mouvement.
- MODE3 : compense les tremblements de l'appareil photo pour réduire les erreurs de cadrage. Ce mode permet des prises de vue de sujets qui se déplacent rapidement et d'une manière aléatoirement, comme lors de rencontres sportives.

I Boutons de maintien de la mise au point

- Le bouton de maintien de la mise au point de cet objectif ne fonctionne pas sur certains modèles d'appareils photo. Pour plus d'informations sur la compatibilité, consultez le site de Sony de votre pays, ou adressez-vous à un revendeur Sony ou à un service après-vente agréé Sony.

Cet objectif possède quatre boutons de maintien de la mise au point.

Appuyez sur le bouton de maintien de la mise au point en mode AF pour annuler AF. La mise au point est fixée et vous pouvez déclencher avec cette mise au point. Appuyez sur le bouton de maintien de la mise au point tout en appuyant sur le déclencheur à mi-course pour recommencer le mode AF.

J Changement de la plage de mise au point (plage AF)

Le limiteur de plage de mise au point permet de réduire le temps AF. Ce mode est utile lorsque la distance du sujet est précise.

Réglez le limiteur de plage de mise au point pour sélectionner la plage de mise au point.

- FULL : la mise au point est réglée sur la distance minimale à l'infini.

- 15m - 4.5m : la mise au point est réglée sur 15 m (49,3 pieds) à 4,5 m (14,8 pieds).

- ∞ - 15m : la mise au point est réglée sur 15 m (49,3 pieds) à l'infini.

K Mise au point prédéfinie

Une distance de sujet particulière peut être mémorisée et rappelée à tout moment. Lorsque la distance est mémorisée, cette mise au point permet des prises de vue de sujets qui se déplacent rapidement, comme lors de rencontres sportives.

Pour mémoriser la distance de sujet

- Faites glisser le commutateur de sélection de la bague de fonction sur PRESET.

- Faites la mise au point de l'objectif sur la distance à mémoriser.

- La distance de mise au point peut être utilisée, quel que soit le mode : AF, MF ou DMF.

- Appuyez de manière prolongée sur le bouton SET pour mémoriser la distance de sujet.

- La distance de sujet mémorisée reste active jusqu'à ce que vous la remplaciez par une autre.
- Le commutateur BEEP étant placé sur ON, un son est émis chaque fois que la distance de sujet est mémorisée.
- Lorsque vous remplacez un filtre à insertion, recommencez la mémorisation de la distance de sujet depuis le début après le remplacement du filtre.

Pour rappeler la distance de sujet

- Faites glisser le commutateur de sélection de la bague de fonction sur PRESET.

- Tournez la bague de fonction dans le sens ou dans le sens contraire des aiguilles d'une montre.

- La mise au point est réglée sur la distance de sujet mémorisée.
- Le commutateur BEEP étant placé sur ON, un son est émis chaque fois que la distance de sujet est rappelée.